

庶子地区「旧砂利線々路敷地」の有効利用を！



質問者
田代 実 議員

家ノ河原線橋梁新設工事によって、令和2年3月までに常光沢に本格的な人道橋が整備されます。そして城山と中里・かなん沢との懸け橋となり、未利用地の状況が続いている旧砂利線々路敷地の有効利用が期待されますので、次の3点について町長の考えをお伺いします。

- (1) 幅員の狭い町道1号線、交通量の多い堤防道路の迂回路となる歩行者専用の散策路として整備すること。
- (2) 地域住民の安心安全と福祉向上のため、散策路の一部にポケットパークを整備し、最優先に防犯カメラと防犯灯、さらにベンチや遊具などを設置すること。
- (3) この常光沢に架かる人道橋は、地域の財産として「親しまれる橋の名称」を地域住民から公募し命名すること。

家ノ河原線橋梁予定地

A

ポケットパークの整備は地域の方と調整していく
回答（町長）



(1) 未舗装のまま散策路として活用するが、町道1号線交差点（かなん沢・中里地域集会所施設付近）に車止めを設置して、自動車の進入を防止する。
(2) 防犯カメラや防犯灯は、散策路わきのスペースにポケットパークの整備と併せ、補助制度を利用できるよう検討していく。
ベンチや遊具の設置は



質問者
小澤 啓司 議員

持続可能な「まちづくり」を問う

世代間交流の場として活用できるよう維持管理の課題などを含め、地域の方々と調整していく。
(3) 橋の名称を地域住民から公募し命名することは、素晴らしいことだと考える。小学生や多くの町民に参加していただき、オール松田で進めていき名称の審査には、地元自治会の方に加わっていただく。

人口減少の進行によって、町税収入の減少が予測されます。高齢化による社会保障費の上昇や下水道の老朽化対策費の増加は避けられません。下記につき、質問します。

(1) 国民健康保険事業の一人当たり国保医療費の速報値が県内最大との報告を受けました。近隣自治体の状況と対策を求めます。
(2) 上下水道管の老朽化が進行しています。地震対策や長期にわたる補修工事計画について説明を求めます。
(3) 松田さくら保育園は定員超えの状況ですが、松田幼稚園の制度見直しは検討されていますか。子育て世代増加策と併せ説明を求めます。

A

経費の抑制に努める
回答（町長）



(1) 一人当たりの国民健康保険医療費は、松田町が第2位です。循環器や腎臓機能疾患対策として、重症化予防のため特定健康診査の受診勧奨や健康度の見える化などを推進し、健康寿命の延伸と医療費の抑制を図る。
(2) 上下水道管総延長は10万5千m、寄筒水は2万8千m、下水道管総延長は4万9千m有り、いずれも耐用年数以内です。耐震基準は寄筒水の一部が未達ですので、対策を検討する。
簡易水道と下水道事業は、公営企業会計に移行する。施設更新の原資は減価償却費と起債になるので、使用料の適正化や経費の削減に努める。
(3) 保育所利用のニーズが高いので、寄・松田幼稚園の「認定こども園」化を検討する。仲町屋町有地などは民間活力により、住宅建設を推進する。



松田幼稚園園舎